

平成 22 年 2 月 9 日

新型インフルエンザ対策推進本部事務局

(医薬食品局安全対策課)

課長 ; 森(内 2747)

安全使用推進室長 ; 佐藤(内 2755)

電 話 ; 03(5253)1111(内 2749)

夜間直通 ; 03(3595)2435

報道関係者 各位

新型インフルエンザワクチンの接種後の 死亡事例の報告について (「関連有り」として報告されたもの 3 例目)

新型インフルエンザワクチンの接種後の副反応報告において、報告医がワクチン接種との「関連有り」として報告した死亡事例について情報提供します。本死亡事例について、主治医は、ワクチン以外に治療等に使用された併用薬等の関連の可能性もあるとしていますが、ワクチン接種との因果関係も否定できないとしています。今後、専門家による検討を速やかに行い、ワクチン接種の安全性を評価する予定です。

平成22年 2月 9日

新型インフルエンザワクチンの接種後の死亡事例の報告について
(「関連有り」として報告されたもの3例目)

厚生労働省
新型インフルエンザ対策推進本部

新型インフルエンザワクチンの接種後の副反応報告において、報告医がワクチン接種との「関連有り」として報告した死亡事例について情報提供します。本死亡事例について、主治医は、ワクチン以外に治療等に使用された併用薬等の関連の可能性もあるとしてはいますが、ワクチン接種との因果関係も否定できないとしています。今後、専門家による検討を速やかに行い、ワクチン接種の安全性を評価する予定です。

1. 報告内容

(1) 事例

80歳代の男性。食道癌、胃ポリープ、高血圧、前立腺肥大のある患者。

平成22年2月4日午前、食道癌、胃ポリープの経過観察のため、他院にて上部消化管内視鏡検査を実施。同日午後、腰痛・頸肩腕症候群などのため受診していた医療機関を受診し、2時50分頃、新型インフルエンザワクチン接種。その後、ケトプロフェン、ワクシニアウイルス接種家兎炎症皮膚抽出液、オキシンドロン、テストステロンを注射。バスで帰宅の途につき、ワクチン接種約4時間後に降車した停留所にてぐったりしているところを発見された。救急隊到着時、心肺停止状態であり、蘇生を実施しながら、近隣医療機関へ搬送。心臓マッサージにより、一時的に心拍の回復が認められるも、午後9時30分頃死亡確認。CT上、脳・胸部等に異常は認められなかったことから、心不全による死因と診断。

(2) 接種されたワクチンについて

微研会 HP07D

(3) 接種時までの治療等の状況

食道癌、胃ポリープ、高血圧、前立腺肥大のある患者。食道癌については初期であり、放射線療法にて経過観察中。ワクチン接種を実施した医療機関には、腰痛・頸肩腕症候群等を主訴として、時折受診していた。定期的に処方していた医薬品は特になし。ワクチン接種前に上部消化管内視鏡検査を実施している。

2. ワクチン接種との因果関係

報告医（腰痛・頸肩腕症候群等の主治医）は、ワクチン接種当日、上部消化管内視鏡検査を受けており、その際に使用された医薬品との因果関係や脱水の可能性等も否定できないが、時間的關係よりワクチンとの因果関係も否定できないと考えている。

3. 今後の対応

基礎疾患による病状や死亡も含めて報告されることがある。専門家により、本死亡事例についての接種との因果関係評価を速やかに行い、情報提供していきたい。